

経営資源 (4つの資本)



ヒト (人的資本・人的投資)

「人間愛」を根本哲学とする企業理念のもと、「積水ハウスグループ人権方針」を策定・公表するとともに、全従業員が「イノベーション&コミュニケーション」を実践できる職場づくりを目指しています。従業員の成長こそが積水ハウスグループの成長であるとの考えから、多様な人財の積極的採用や育成、社内認定制度によるスキルアップを支援し、グループ全体での適正配置に努めるとともに、ビジョンの共有を通じた人財価値の最大化を図ることで企業価値向上を目指しています。



連結従業員: **29,052人**
うち、海外1,417人

• 営業職: **7,108人**
• 技術職: **8,442人**

女性管理職: **302人**

障がい者雇用率(グループ)*1: **2.86%**

男性の育児休業取得率: **100%**

当社が
重視する
主要国家資格

一級建築士*2: **3,417人**
1級建築施工管理技士*2: **2,904人**
FP2級*2: **4,560人**
宅地建物取引士*2: **8,170人**

社内認定制度
認定者数*3

チーフアーキテクト: **319人**
チーフコンストラクター: **143人**
構造計画スペシャリスト: **214人**
プラチナスペシャリスト: **45人**
CSマイスター: **63人**

*1 国内連結会社のうち障がい者法定雇用義務のある33社(単体含む)

→ P.41 積水ハウスグループの人的資本経営
→ P.86 人財戦略 → P.191 社内認定制度

*2 積水ハウスおよび国内主要グループ会社(鴻池組除く)

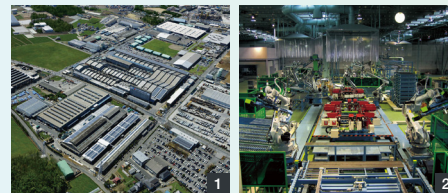
*3 2023年4月1日時点 積水ハウス単体



モノ (製造資本/自然資本)

▶ 製造資本

国内事業においては、請負型ビジネスの邸別生産の要となる製造ラインを所有する生産拠点(工場)と、全国の施工現場に部材を配送する物流拠点を有しています。工場間の部材輸送手段は鉄道モーダルシフトを実施しており、環境負荷の低減を図っています。また、生産効率向上のための部材生産設備や、開発型ビジネスにおける設備投資も実施しています。



2022年度実績 設備投資額: **953億円**

1 2 生産拠点: **6カ所**
国内5カ所、海外1カ所

物流拠点: **40カ所**

→ P.51 バリューチェーン
→ P.175 工場サイトレポート
☑ (公開サイト)生産体制

▶ 自然資本

持続可能性を考慮したCSR調達に取り組んでいます。フェアウッド調達や森林認証の取得のほか、調達におけるデュー・ディリジェンス、国産材の地産地消への貢献など、サプライヤーとの共存共栄を図りながら、持続可能性を追求しています。また、独自の取り組みによるエネルギーや環境負荷低減にも努めています。



3 持続可能な木材調達比率: **97.1%**

生物多様性に配慮した
植栽(「5本の樹」計画): **1,900.3万本**

CO₂排出量: **8.2万t-CO₂**

サプライヤー SBT目標設定率: **31.9%**

RE100進捗率(積水ハウスオーナーでんき): **55.1%**

廃棄物排出量: **106.9万トン**

4 資源循環センター: **国内23カ所**

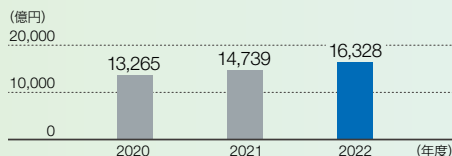
→ P.136 脱炭素社会への貢献 → P.146 生物多様性保全
→ P.154 サーキュラーエコノミーに向けた取り組み
→ P.216 サプライチェーン・マネジメント

経営資源(4つの資本)

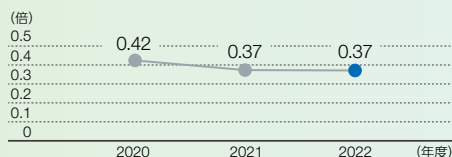
資金 (財務資本)

持続的成長を支えるために不可欠である強固な財務基盤を確立し、事業環境を取り巻くさまざまなリスクに備えるとともに、機動的かつ柔軟な投資判断を下せる投資余力を常に確保しておく必要があります。財務健全性の評価基準、適正な財務レバレッジ水準の目安として信用格付を重視しており、国内格付はAA格、外国格付はA格を確保することを前提に、D/Eレシオ0.5倍程度、債務償還年数(Net Debt/EBITDA倍率)1.5年を下回る水準を目途とし、積極的な成長投資と財務健全性のバランスを保ちます。

自己資本



D/Eレシオ



自己資本: 1兆6,328億円

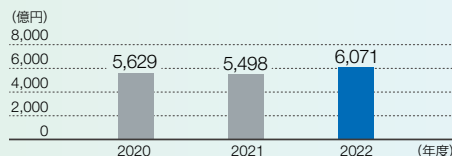
有利子負債: 6,071億円

D/Eレシオ: 0.37倍

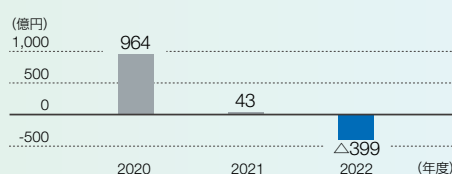
フリー・キャッシュ・フロー: △399億円

→ P.74 財務資本戦略 → P.78 財務分析

有利子負債



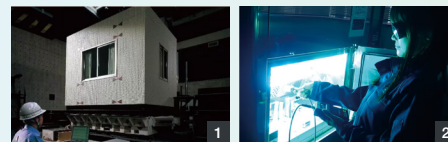
フリー・キャッシュ・フロー

第5次中期経営計画
実績(3カ年) 不動産投資額: 1兆9,774億円長期信用格付: AA(日本格付研究所)
AA-(格付投資情報センター)
A(S&Pグローバル・レーティング)債務償還年数
(Net Debt/EBITDA倍率): 0.93年

知的・社会資産 (知的資本/社会・関係資本)

知的資本

積水ハウスグループが手掛ける住宅や賃貸住宅、一般建築物などにおける品質向上や新技術の開発、さらに幸せなどの快適性能や環境分野等、多角的なテーマで、最先端の研究開発を推進しています。また、イノベーション風土の醸成も推進し、積水ハウスグループの持続的成長に向けた、技術開発、技術革新に積極的に取り組んでいます。



2022年度実績 研究開発費: 95億円

特許権保有件数: 787件

意匠権保有件数: 359件

プラットフォームハウス構想

- 在宅時急性疾患早期対応ネットワーク「HED-Net」
- スマートホームサービス「PLATFORM HOUSE touch」
- 生活サービス紹介サイト「SUITE CONCIER」

1 2 総合住宅研究所

住生活研究所

TLM(Tomorrow's Life Museum)

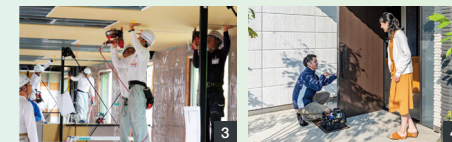
技術研究所(鴻池組所有: 大阪、つくば)

→ P.51 バリューチェーン → P.87 技術・研究開発戦略

☑ (公開サイト) 研究・開発 ☑ (公開サイト) 展示場・体験施設

社会・関係資本

業界一の累積建築戸数を誇る強固な顧客基盤と、それを実現する施工力は、積水ハウスグループと社会をつなぐ重要な要素であり、コアコンピタンスとして位置づけています。積水ハウス建設グループと協力工事店が「運命協同体」の精神で結束する施工体制や、オーナー様との長期リレーションシップの要となるカスタマーズセンターによるアフターサービス体制を構築しています。



累積建築戸数(海外含む): 262万戸

積水ハウスの本体工事に関わる
協力工事店数: 2,595社3 教育訓練センター・訓練校: 国内3校
技能訓練施設: 海外1カ所4 カスタマーズセンター: 100拠点(30事業所)
1,462人

→ P.51 バリューチェーン

→ P.206 教育訓練センター・訓練校

→ P.207 お客様への取り組み

→ P.210 地域社会との共生

☑ (公式サイト) 積水ハウス「教育訓練センター訓練校」